

施策 2

グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進

<主な取組>

2-① デジタル技術も活用しながら外国語教育を充実させるとともに、異文化理解の促進や、国際的素養を身に付けたグローバル人材の育成に取り組みます。

2-② 主体的に課題を発見し、多様な人との協働により課題解決する探究学習の実施や、STEAM教育等の教科等横断的な学習の充実に取り組みます。

2-③ 地域活動への参加促進、世代間交流の機会充実などにより、若者の定住意識の醸成に取り組みます。

2-④ 主権者教育、防災教育、消費者教育、ESD等、主体的に社会の形成に参画する教育を推進します。

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
2-①	青森の新たな未来を切り拓くグローバル人材育成事業	15,775	● グローバル社会に対応し、世界を相手に活躍できる人材を育成するため、シンガポールの学校等におけるフィールドワークや、台湾の高校との相互交流による協働学習を行う。 ▶ シンガポールフィールドワークプログラムには生徒20名が参加し、事前のオンライン研修を実施したのち、シンガポールにおいて3泊5日の日程で海外研修を実施。英語でのインタビュー等のコミュニケーションを通して国際的な視点を育んだ。また、多様な英語に触れ、英語学習に対する今後の課題を見つけ、学習意欲を向上させることができた。 ▶ 台湾の高校生や教職員との協働探究学習推進プログラムとして了解書締結校の受入、派遣、オンラインによる交流を実施。お互いの文化にふれるための交流から、共通のテーマを軸とした協働探究学習へと内容が深化している。また、台北市政府教育局との了解書を更新し、派遣・受入における取組を拡充したため、本県と台北市の双方の交流が幅広い交流を展開することが期待される。 ▶ 海外の学校と新たに交流を希望する学校へのオンライン交流のサポートの実施。
2-② 2-③	主体的に未来を切り拓く高校生による「あおり創造学」プロジェクト事業	30,853	● ふるさとを誇りに思い、新たな未来を切り拓く挑戦をしていく人材を育成するため、全ての県立高校において、地域の関係機関と連携しながら青森県の課題や可能性を主体的に探究する「あおり創造学」に取り組むとともに、その成果を地域に発信する。 ▶ 本事業における共通指標の平均値は90.6%で、昨年度の86.7%を3.9%上回り、あおり創造学の取組を通して、郷土に対する愛着や誇り、地域への貢献意欲の醸成を図った。 ▶ 新たに「あおり創造学探究セミナー」を県内4地区で実施し、学校間連携を推進するとともに、アドバンスコースとベーシックコースを設定し、各学校の実情に応じた支援体制を構築することにより、外部機関が主催する発表会等への参加を促進し、探究的な学びの成果の発信につなげた。引き続き各校の「あおり創造学」の取組を支援することにより、県全体の探究学習の推進を図る。

施策 2

グローバル社会への対応と主体的に社会に参画する学びの推進

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
2-④	高等学校における防災教育推進事業	4,237	●「共助・公助」の資質・能力の育成を目指した防災教育の普及のため、県立高校において、防災教育に関する取組を実践するとともに、その実践事例を記録集にまとめ、他の高校へ配布する。 ▶実践校の防災教育を推進する教職員16名が視察研修に参加。先進地や被災地では、参加した教職員にとって机上の空論だけでは得られない貴重な学びとなり、自校での実践的な防災教育の考案につながった。 ▶各実践校において地域の災害リスク等に応じた実践的な防災学習に取り組んだことで、災害を自分事として考えることができるようになり、災害発生時に主体的に行動できる資質を身に付けることができた。また、「あおり高校生防災サミット」を開催し（高校生101名参加）、各実践校による防災教育の事例発表、防災食・防災グッズ体験など、多様な防災学習に取り組み、学びを深めていた。 ▶実践校の取組を他の高等学校へ普及させるための記録集を作成し、全ての高等学校に配布。今後は取組の普及のため、各学校において実践記録集の活用方法等について周知していく必要がある。

＜指標＞

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
①	本県の公立高校において、高校3年生でCEFRのA2レベル相当以上を達成した生徒の割合	(R4) 50.2%	60.0%	(R5) 46.2%	(R6) 48.6%			
② ③ ④	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	(R5) 小 80.5% 中 68.8%	小、中ともに 基準値より増	小 87.0% 中 80.3%	小 83.7% 中 79.3%			
②	「あおり創造学」プロジェクト事業における生徒の理解度 ① 地域の魅力を再発見し郷土愛が深まったか。 ② 地域課題への理解が深まったか。 ③ 地域課題解決など地域貢献したいという気持ちが高まったか。	(R5) ① 85.7% ② 91.1% ③ 87.7%	①、②、③ ともに 基準値より増	① 83.8% ② 89.8% ③ 86.4%	① 88.6% ② 92.2% ③ 91.1%			

＜今後の方向性＞

- 外国語教育の充実（教員の指導力向上、英語教育における小・中学校連携の促進等）、国際的素養を身につけたグローバル人材の育成（国際バカロレアの理念に基づく教育の推進、国外の高校生との教育交流の推進等）
- 探究学習・STEAM教育*の充実（「あおり創造学」を通じた地域課題解決型学習の実施や情報発信等）等によるこどもの意欲や主体性を育む学びの実現と郷土への愛着を深める取組の推進 ※ STEAM教育…科学・技術・工学・芸術・リベラルアーツ、数学の5つの領域を対象とした理数教育に創造的教育を加えた教育理念
- 主体的に社会の形成に参画する教育の推進（主権者教育、防災教育、消費者教育、ESD※等） ※ ESD…持続可能な開発のための教育